

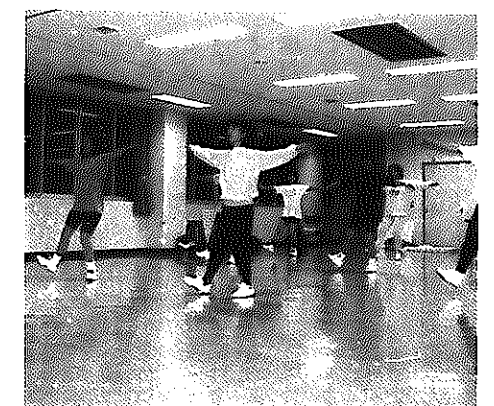
広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

1999.3.15
No.542

サークル通信

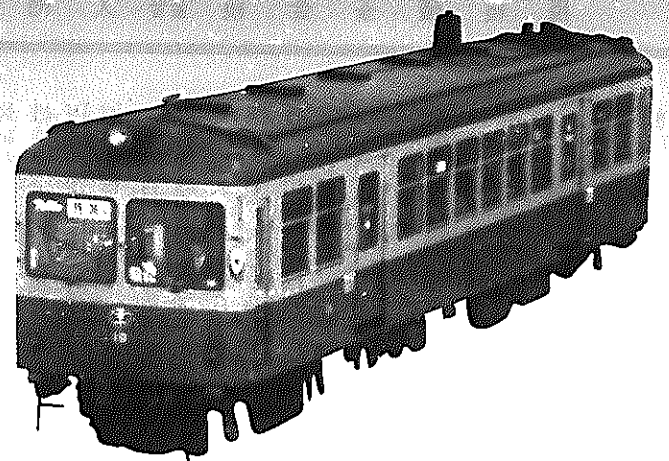
無理なく楽しくリズムに合わせて エアロビクスサークル 「マミーポピンズ」



8年ほど前に大通地区の主婦を中心に発足。現在、会員数は14人。毎月第1・第3金曜日の午後7時30分から大通地域生活センターで練習をしています。軽快な音楽が流れる中、「自分のペースに合わせて動いていきましょう」と指導するインストラクターの宮沢正子さん(新潟市)。宮沢さんの指導は「基礎的な動きが中心で、正しい立ち姿勢など、日常生活でも取り入れられるアドバイスがいっぱい」「エアロビクスを始めてから、肩こりがよくなっただけでなく、自分のペースで体を動かす楽しさを知った」と好評です。エアロビクスの楽しさは、「何と言ってもいい汗をかけること。終わった後の快感がたまります」と会員の皆さんは口をそろえて話します。サークルでは、現在会員を募集中。1回だけの参加も可能です。問い合わせは楠谷静子(☎362・6818)へ

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

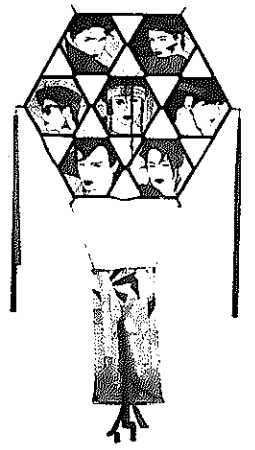
駆け抜けた66年、 さよなら電鉄



白根市の財政事情
市政クリップ
お知らせ
みんなのページ
サークル通信
あなたも風博士

セブンスターズ(アメリカ)

一九九三年八月、アメリカのワシントン州ロングビーチの国際風揚げ大会に参加しました。アメリカをはじめ、ヨーロッパ、オーストラリアなど、世界的に著名な風作家が出席する大会として知られています。ここでは、一週間ぶつ通して自慢の風を揚げるのです。そしてカラフルな風が、青い青い空を埋め尽くします。私は多くの風の中に、哀愁を漂わせた女性が窓際にたたずんでいる絵の角風を見付けました。同行したカナダの風仲間のダン・倉橋さんをお願いして、作者のランディー・トムにおねだりをしたところ、あっさり「いいよ」と言ってくれました。トムは中国系のアメリカ



カ人です。フィリピンも東洋的です。このセブンスターズも彼が作ってくれました。絵の具で描かれているように見えますが、赤や青、紫、そして細い線の黒まで、ナイロンの布を切り抜き、縫い合わせて「絵」を完成させます。トムは、その技術では世界のトップクラスの風作家です。

あなたも風博士

文・田村和雄
(しろね大風と歴史の館運営委員会委員長)

＝交通事故の発生件数＝

白根警察署管内	2月末現在
	※()は前年同期
発生件数	36件(28件)
死者数	0人(0人)
負傷者数	50人(32人)

編集ルーム

◎広報の記事を書くのに、パソコンが手放せない毎日ですが、うっかり「ら抜き言葉」で入力して、パソコンに指摘されることがあり、「あっ、いけない」と反省する時も。◎テレビでも「ら抜き言葉」が多く聞かれるようになり、「食べれる」は当たり前に使われ、「全然」は強調する意味でも自然に使われる言葉になりました。◎言葉も時代の波に乗って変化しているようです。(ひ)